

中 島



創 立 7 0 周 年 記 念 式 典
ビ ア パ ー テ ィ ー 開 催



目

次

巻頭言	関 剛 一	1
熊本市歯科医師会創立70周年記念式典祝賀会		2
かかりつけ歯科医初診再診料算定を考慮した口腔内写真撮影の基礎		4
口腔内写真撮影〈各種デジタルカメラの特徴を知る〉		6
第24回熊本市歯科医師会親睦会“夏だ!ビールだ!元気に乾杯!”		8
第50回九州地区学校保健研究協議大会 平成12年度熊本大会		10
スタッフレベルアップセミナー		12
「在宅診療介護における口腔ケアとアシスタントの実際」		
第9回熊本市在宅寝たきり老人等歯科保健運営協議会		14
委員会だより		15
—学校歯科・公衆衛生・医療管理—		
委員会紹介	社 保 委 員 会	16
	学校歯科委員会	18
三歯会座談会		20
Study		21
「そんなにエライか、EBM」		
—清村 正弥—		
こんにちは、私が支部長です—Part1—		26
スポーツの広場		29
会務報告		30
協同組合だより		32
編集後記		

表紙の写真

8月に行われた創立70周年記念式典において
21世紀へ向けて新たな一歩を踏み出していきたいと述べる関会長

巻 頭 言

「かかりつけ歯科及び介護保険の実践を」



関 剛一 会長

先ず、8月26日(土)本会創立70周年記念講演・式典・祝賀会を挙行いたしました所、多くのご来賓の出席を賜り盛会裡に終了する事が出来ました事は全会員の先生方のご尽力のお陰と深く感謝申し上げます。20世紀最後の年に70周年を迎え、これを機に21世紀の本会の有り方を再認識する必要があり執行部及び会員の先生方と共に努力せねばならぬと痛感しております。

さて、期待していました医療保険の改定は今年4月より実施されましたが各医療機関の医業収入は逆に減少している傾向にあります。今年度の改定は「かかりつけ歯科医初診・再診」の評価が主眼であり、それが会員に反映されていない様に思えます。「か初診・再診」の評価は色々な意味があり、単に点数のアップだけにとどまらず算定する事により患者とインフォームドコンセントが実践され点数以上の効果があると確信しております。又、「か初診・再診」を医療機関が算定する事により将来初診・再診の医科との格差は廃止されることになると思われます。

4月より介護保険もスタートしました。それに伴い医療保険より介護保険に移行した項目もあり、医療保険と介護保険と共有する項目については介護保険を優先する様になっています。現在、熊本市介護保険課と協議し、要介護認定者の調査員、ケアマネージャー等の歯科介護の認識、教育等を検討中であり、それによりケアプランの中に歯科介護メニューが増加するでしょう。現在、歯科の介護保険請求が少なく介護保険の利用が非常に少ない現状です。各歯科医療機関が居宅療養管理事業所として充分にその機能を発揮する必要性を感じます。

医院経営が困難を窮める中それを少しでも打開する為にも「かかりつけ歯科」及び「介護保険」を実践されます様お願いして巻頭言と致します。

熊本市歯科医師会創立

記念講演

3:30 開 会
 挨拶
 ・ 演者紹介
 ・ 講演 仏蔵寺 住 職 高千穂正史
 ・ 感謝状贈呈
 4:45 閉会



8月26日(土)午後3時30分よりニュースカイホテル「玉樹の間」にて市歯創立70周年の記念行事が行われた。

まず記念講演が「歯科患者の感想、そして歯科医師に申し上げたいこと」と題し仏蔵寺住職高千穂正史氏を演者に行われた。

〈講演要旨〉

今まで4名の歯医者さんにかかった、その変遷。現在上下総義歯となるが今の義歯は落ちてこない。でもベストではない。まだなれないことがある。それよりも、歯を無くしたことによってウツ病になった。精神的な心づかいも必要。歯科医師への注文として治療のタイムテーブルや自費のランク別の表などをつくってほしい。隣のチェアがみえないように。待ち時間は短く、など患者の立場で感じたことをのべられた。更に、歯をなくして義歯が入るまでの栄養補給

記念式典

5:00 開会
 式辞 会長 関 剛一
 黙祷
 歩み
 表彰
 (代表) 役員 代表 川 寄 正
 支部長 代表 田中 宏
 委員会 代表 齊藤 健
 謝 辞 川 寄 正
 祝 辞 潮谷 義子
 熊本市知事 三角 保之
 熊本市市長 江藤 正行
 熊本市議会議員 江藤 正行
 熊本市歯科医師会会長 堤 直文
 来賓紹介
 祝電披露
 6:00 閉会

祝賀会

6:30 開会
 挨拶
 来賓紹介
 祝辞
 会長 関 剛一
 熊本市医師会会長 豊田 大徳
 熊本市議会議員 八浪 知行
 熊本市議会議員 荒木 哲美
 八代歯科医師会会長 福田 民男
 第14代会長 中根 俊吾
 乾杯
 万歳三唱
 8:30 閉会



70周年記念式典祝賀会



にと高カロリードリンク「テルミール」を1ケース
かかえて我々聴衆に配ったり、文春新書で出た
ばかりの「入れ歯の文化史」を紹介されたりと時
間を忘れる1時間だった。

5時からは記念式典となり、式辞、黙祷、市歯の
歩み、表彰者紹介とつづき表彰者のうち役員代
表として第13代会長川壽正、支部長代表として
北部1支部田中宏、委員会代表として学校歯科
委員会を30年近くつとめられた斉藤健の3名の
先生が記念品を授与され、川壽正先生より謝辞
をいただいた。つぎに祝辞を知事、市長、市議、
県歯会長よりいただき、来賓紹介、祝電披露の後
閉会となった。

ひきつづき6時30分より祝賀会が開かれた。会
長挨拶、来賓紹介の後、市医師会会長、県議、市議、
八代歯会長から祝辞をいただき、中根俊吾前会
長の乾杯で開宴、しばしの歓談の後、菅原副会長
の万歳三唱でおひらきとなった。



年号・西暦	熊本市歯科医師会の歩み
昭和6 1931	熊本県歯科医師会 熊本市支部設立
8 1933	熊本市歯科医師会設立
26 1951	「母と子のよい歯のコンクール」開始
29 1954	市歯会機関紙「歯界新報」創刊
30 1955	市歯創立25周年記念式典
44 1969	市歯会35周年記念パーティー 市歯科医師会会誌創刊
50 1975	口腔保健センター出務開始
52 1977	第1回市歯科医師会親睦大会 (支部対抗バレーボール大会) 入会金改定(10万円から30万円へ改定) 休日夜間診療制度発足(在宅当番制)
55 1980	入会金改定(30万円から100万円へ改定)
57 1982	熊本市保健医療専門団体連合会発足
61 1986	第14回パールラインマラソン大会 健康測定、市歯出務開始 熊本市市民健康展(この年より10月に定着)
63 1988	入会金改定(100万円から300万円へ改定)
平成元 1989	急病時、代診制度発足 第65号市歯科医師会会誌、今号より「中岳」と 改称 緊急時後方支援病院制度発足
3 1991	北部3支部発足 熊本市在宅寝たきり老人等歯科保健推進事業 開始
4 1992	熊本市職員家族歯科健診事業開始 企業歯科健診推進事業開始 第1回高齢者よい歯のコンクール 第16回市歯科医師会親睦大会 (支部対抗ボウリング大会)
5 1993	熊本市デイスサービスセンター 『長寿の里』歯科室開設 市役所ロビー歯科無料健診開始 会員による無料一斉歯科健診開始 会員之證完成
6 1994	『有病者歯科治療ガイドブック』作成
8 1996	入院入所者歯科診療制度開始 熊本市在宅寝たきり老人等歯科保健推進事業 5周年記念シンポジウム
9 1997	市歯歯科学大会 4才未満児歯科治療費無料化(熊本市)
10 1998	市歯会誌「中岳」100号 市歯ホームページ開設 第22回市歯科医師会親睦大会 (第1回ビアパーティー)
11 1999	5歳未満児歯科診療費無料化(熊本市) 市歯入会金減額(300万円→150万円)

かかりつけ歯科医初診再診料算定を考慮した口腔内写真撮影の基礎

熊本市会員 松永 久先生



6月27日(火)午後7時30分より、熊本県歯科医師会館3Fホールにおいて本年度第1回学術研修会が開催された。最初に関剛一会長より、かかりつけ歯科医初診料を算定することは点数のアップだけでなく、新患の獲得、患者さんの固定、コミュニケーション、インフォームドコンセント等にも役立つというような他のメリットもある為、是非、口腔内写真を撮って頂きたいという主旨の挨拶があった。挨拶の後、熊本市会員の松永久先生に「かかりつけ歯科医初診料算定を考慮した口腔内写真撮影の基礎」と題して講演して頂いた。

講演の内容は以下の通りである。

I 写真撮影の目的

初診および経過の記録、患者への説明、動機付け、勉強会での症例発表、自分の臨床の反省、スタッフの引継ぎ時、等に用いている。

II カメラの基本的な知識

a. カメラの種類

接写が可能な一眼レフカメラ

一人で撮影する場合は軽い方が良い

歯科専門の機種もメーカーから出ている
ストロボへの電源供給様式(ACか電池)

b. レンズの種類

焦点距離が120mm位あった方が良い

c. シャッタースピード

早い方がぶれにくくて良いがストロボ発光に同調している必要がある。

d. 絞り(F値)

絞り大:被写界深度(ピントの合う範囲)深くなる。

絞り小:被写界深度浅くなる。

e. ピント

一定の絞り値においてはフォーカスを合わせた前方1/3、後方2/3の距離までフォーカスが合うのでこの特性を利用する。

f. 露出

露出変更する場合はASA感度を変更するか露出補正専用の目盛の変更で行う。

g. 光源

リングストロボが勿論必要であるが、補助光としてユニットのライトを均一にあてる。

h. フィルム

スライド用フィルムを使用する。

松永先生はFUJI CHROMEのSENSIA2を使用。

i. フォーカシングリング

撮影構図を決める指標となる。

III 撮影時における補助器具

a. 口角鉤(大小のサイズ、一体型とセパレート型がある)

b. ミラー ガラスとメタル製がある。ガラスは反射率が良い。メタルは反射率が悪いので、ガラスと比較すると写真が暗くなる。

c. お湯を入れる容器(曇り止めの為)、お湯に入れる消毒薬(コンクール等)、ガーゼ

d. ファインダー内のスクリーンマット(縦横の線入り)

IV 撮影の実際

a. 撮影枚数および撮影部位

正面観、上下顎咬合面観の3枚。さらに左右側方面観の計5枚あると理想的

松永歯科では12枚撮影

以下に松永歯科での撮影手順を示す。2パターン有る。()内は一応の目安となる倍率

〈パターン1〉

側方面観をミラー無しで直接撮影する場合
(初心者向け)

大きい口角鉤を両側につけて

- ①正面観(1/2)→②正面観拡大(2/3)→
- ③右側方面観(2/3)→④左側方面観(2/3)→⑤右上口蓋側(2/3)→⑥右下舌側(2/3)→⑦左上口蓋側(2/3)→⑧左下舌側(2/3)

小さい口角鉤を用いて

- ⑨上顎前歯口蓋側(2/3)→⑩上顎咬合面観(1/2)→⑪下顎咬合面観(1/2)→⑫下顎前歯舌側(2/3)

〈パターン2〉

側方面観をミラー使用して撮影する場合

大きい口角鉤を両側につけて

- ①正面観(1/2)→②正面観拡大(2/3)→
- ③右上口蓋側(2/3)→④右下舌側(2/3)→⑤左上口蓋側(2/3)→⑥左下舌側(2/3)

左のみに大きい口角鉤をつけて

- ⑦右側方のミラー面観(2/3)

右のみに大きい口角鉤をつけて

- ⑧左側方のミラー面観(2/3)

小さい口角鉤を用いて

- ⑨上顎前歯口蓋側(2/3)→⑩上顎咬合面観(1/2)→⑪下顎咬合面観(1/2)→⑫下顎前歯舌側(2/3)

b. 撮影する前にはまず最初に患者さんへの説明、同意を得ることが必要。

c. 撮影者は松永歯科では一人、いずれにしても診療所独自のスタイルをつくり手際よく撮れるよう訓練しておくことが必要と思われる。撮影時には患者さんに苦痛を与えな

いよう配慮しながら迅速かつ正確に撮影するようこころがける。

スライドによる講演終了後、実際に口腔内写真撮影のデモを松永歯科のスタッフにして頂いた。12枚を一人で手際よく撮影していく様は見事で感嘆させられた。良い口腔内写真を撮るためには、スタッフの教育、協力が不可欠であることを改めて実感させられた研修会であった。当日は雨の中にもかかわらず100名程の参加者があり盛会のうちに閉会した。松永先生およびスタッフの皆さん、本当にありがとうございました。

最後に清野先生が著書の中で書いておられる口腔内撮影の5つのポイントを添付させて頂き報告を終わらせて頂きます。



- ①患者に対する説明と配慮
- ②撮影部位による患者の位置付け
- ③口角鉤の種類と引っ張る方向、強さ
- ④ミラーの位置と角度
- ⑤ファインダー内の画面構成

(学術 山部英則)

参考文献:清野尚:アドバンス臨床写真コース、クインテッセンス、東京、1994.

口腔内写真撮影 各種デジタルカメラの特徴を知る 熊本市歯科医師会第1回学術講演会

講師 口腔内写真撮影用デジタルカメラメーカー各社担当者

8月5日(土)熊本県歯科医師会館3Fホールにて、熊本市歯科医師会第1回学術講演会が開催されました。今回は、諸先生方からの要望が多かった、数社からでている口腔内撮影用デジタルカメラについての比較検討のための講演会となりました。今年の4月から導入されている「かかりつけ歯科医初診料」は、口腔内写真が非常に重要な要素となっています。最近のデジタルカメラの進歩は著しく、数ヶ月で新しい製品が市場に投入されています。口腔内という奥行きがあり、光が届きにくい環境では、特殊なシステム構築がなされた機種能力には優れたものがあります。今回は、7社の担当者にそれぞれ10分程度の説明を行っていただきました。

1) 熊本県歯科医師会推薦システム (オリンパス)



この4月の保険点数改正において、歯科の2.0%アップのうち1.6%が「かかりつけ歯科」にもりこまれている。新患の50%について「かかりつけ歯科」を算定した場合、改訂前と同等。新患の70~80%について「かかりつけ歯科」を算定した場合約1.6%のアップとなる。今回、「かかりつけ歯科」の治療説明書もより簡略化されたものになり、冠脱離や実日数1日で完了するケースを除き積極的に「かかりつけ歯科」の算定をしてほしい。との社保委員会からのコメントも話された。今回は、「かかりつけ歯科」算定に使える最も安価で必要条件を満たしたデジタルカメラを探したにすぎず、これ以上のものではあればよいということです。



2) オリンパス販売

今回は、デジタルカメラの特徴と利点を中心に説明された。利点として、すぐに見れる、すぐにプリントできる、すぐに画像伝送できる、画像処理ができる、画像の劣化がない、保存検索が容易、不要画像の削除が容易などがあげられ、最近の用途としては建設現場や損害保険利用時の記録写真にも使われ始めているようである。

3) オリンパスAVS(Mシステム)



オリンパスC-900シリーズに対応するデジタルカメラ用近接撮影システム。マクロ撮影用で、0.4~1.1倍の撮影が可能。専用プリンタP330Nを利用するとPCなしでプリント可能であり、テレビモニターへの接続やパソコンへの取り込みももちろん可能である。システム自体は三脚用のネジに取り付ける簡単なもの。価格はMシステムが70,000円で歯科材料店経由。カメラはc990Zがオープンで59,800円、P-330Nが64,800円で量販店

で購入するとよい。

4) 和田精密歯研



オリンパスC-3030N(330万画素)にアメリカ製リングフラッシュを装着したシステム。軽い(725g)ので片手

で撮影可能。簡単撮影(オート・固定焦点)。コードレス(スレーブ方式)撮影(3030のみ)。20cm程度で撮影した後ズームで範囲を決めるとよい。特価166,000円

また、チェアーのボールに装着する七尾製のアーム式の液晶テレビを説明。

フレックスビュー液晶テレビ特価134,900円

5) ヨシダ(フジフィルムの担当者が説明)

デジタルカメラの時代。出荷額でフィルムカメラを上回る。2000年は国内で300万台増加。前年比180%。背景はインターネット人口の増加。などと現在の市場の動向説明から開始。

①ファインピックス2900Zデジタルキット



Fujiファインピックス2900Zが基本。小型軽量操作。930g。45mm×30mmの図角。等倍に近い口腔内の撮影が可能。

ズームも可能。NX-700という専用プリンタ(スマートメディア)でプリント可能。定価160,000円、プリンタ付231,000円

②FujiファインピックスS1プロ



340万画素を信号処理により最大613万画素に、一眼レフの105mmマクロレンズ採用。スライドに起こしても

十分鑑賞に耐える状態になる。定価375,000円



6) モリテックス

アナログCCDを使用したイントラオーラルカメラ。定価525,000円

7) MS-1System



企画開発は川越市モモ矯正歯科斉藤正史先生が開発したシステムである。高画質、歯冠色、歯肉色の色再

現性に優れること、コストパフォーマンス、壊れにくい、重くない(今回の他のメーカーよりは重い)。フラッシュはリングフラッシュであり露出制御が正確である。MS-1とオリンパスC2500Lで204,700円、ストロボセットのみは84,000円(税込み)だが、実際にはカメラの市販価格が安い。

当日は、暑い日でもあり参加者も少なくなりましたが、隣の部屋では実機をさわって熱のこもった質疑応答など、熱心な聴講者が多い講演会でした。

(学術 高松尚史)

第24回熊本市歯科医師会親睦会

夏だ！ビールだ！元気に乾杯！

会長もラフな服装で挨拶



6月17日(土)、午後6時30分より交通センターホテルに於いて、第24回熊本市歯科医師会親睦会「夏だ！ビールだ！元気に乾杯！」が開催された。

当日は、梅雨で足元の悪い中、100名(会員94名)を越える出席があった。会員相互の親睦が目的のこの厚生事業も、古くはバレーボール大会、ボウリング大会と行われてきましたが、新企画のビアパーティーも今年で3年目を迎えました。



県歯 堤会長もご出席



乾杯！私が鈴木です

まず始めに主催者を代表して関会長より挨拶があり、続いて同月に行われる衆院選熊本第1区より立候補、歯科医師会推薦の岩下栄一先生に來賓としてお言葉をいただいた。また、同日には熊本県に於いて九州各県広報担当者連絡協議会が開催されており、非常にお忙しい中、県歯堤会長にご出席いただき、ご挨拶をいただいた。

続いて鈴木勝志先生(南部)の乾杯の御発声でビアパーティーが始まった。各テーブルでは、おいしい料理に舌鼓をうち、お酒を酌み交わし、会話が弾む中、恒例のカラオケが始まった。前期まで厚生委員であった中川順一先生(西部)にトップをつとめてもらい、昨年に引き続き、取りに林正之先生(西部)の洪い歌でカラオケを終了した。時間の都合上お断りした先生方、次回のステージを宜しくお願いいたします。

ひきつづきビンゴゲームが行われ、今までテーブルを行ったり来たり先生も、この時とばかりビンゴに集中、「リーチ、ダブルリーチ」と声上がる中、賞品がどんどん出ていった。数に限りがある賞品が出尽くした頃、最高の盛り上がりとなった。



さすが！息の合ったコーラス



若い娘からエネルギー充電



大取りはいつも林正之先生

時間のたつのは早いもので、終宴の時間となり、最後に菅原副会長の万歳三唱で今年のビアパーティーが無事に終了した。



さあ次の店行くバイ



ビンゴ！！私が一番よ～



バンザイ（前を向かんかい！）

今年も若い先生方の出席があまり多くなかったようです。来年は知り合いの先生とご一緒にぜひご参加ください。

（厚生 有田俊昭）

第50回九州地区学校保健研究協議大会

～平成12年度 熊本大会～

8月6日(日)、7日(月)、8日(火)の3日間、熊本市において、九州各県の学校保健関係者が参集し、学校、家庭、地域社会及び関係機関、団体との連携による保健、安全指導の在り方やその実践活動上の諸問題について研究協議を行った。

「生涯を通じて健康で豊かな心をもち、たくましく生きる子供の育成」～学校、家庭、地域社会の連携をとおして～をテーマとし、

九州各県学校保健会 九州各県教育委員会
熊本県学校保健会 熊本県教育委員会
熊本市学校保健会 熊本市教育委員会
の主催で、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、盲・ろう・養護学校教職員及び保護者、学校医、学校歯科医、学校薬剤師及び医療関係者、教育委員会の関係者、その他、大会に賛同する多数の参加があった。



熊本市歯科医師会学校歯科委員会では分科会(8日)に全委員8名が参加した。

7つの分科会のうち

第3、5分科会はニュースカイホテル、

第4、7分科会は交通センターホテルにて行われた。



次に分科会からレポート報告

第3分科会(心の健康教育)報告

第3分科会では「心の健康教育」と題して佐賀県佐賀市立木庄小学校の手塚美代子教諭、熊本市立芳野中学校の小西裕子養護教諭、熊本県立熊本工業高校の森田夕美子養護教諭の3人が発表されました。

最初の話で最近起きた佐賀のバスジャック事件が出ました。一昔前は、子供をよい子、ふつうの子、悪い子とわけた場合、悪い事をするのは悪い子であったが、10年位前から、ふつうの子が悪い事を、最近ではいい子が悪い事をやるようになってきているとの事でした。こういった時代背景もあり、子供とのコミュニケーションがより重要になってきていると思われました。

学校の教育だけでは、どうしても限界がありますが、子供達、あるいはその子供の家族の方に、時には一方通行になるかもしれませんが声をかけていくことが大切であるとの事でした。

(山口一彦)

第4分科会は「エイズ教育を含む性教育」をテーマに熊本県医師会の工藤医師よりエイズを含めた性感染症の低年齢化や未成年者の中絶の増加などを医師の立場から述べられ、性的問題行動に対してそのすべてを大人の自分勝手な価値観で決めつけることなく、よき理解者として自立した子供を育てていくことを学校現場に求められておりました。また教育者からは今までの「教師主導型」で知識中心の学校から「生徒参加型」の性教育にかわりつつあり、また性教育という枠を越えて、人間とは何か、生きるとはどういうことかを、それぞれの発達段階で探求、思考させる内容となっているのを2人の教諭から具体的な発表がありました。

(吉崎久次)

第5分科会では①「歯からはじまるヘルスプロモーションの実践化を目指して」を主題とし熊本県天草郡松島町立今津小学校の養護教諭の井上倫子先生より、②「学校保健委員会を中心とした歯科保健活動」を主題とし熊本県歯科医師会学校歯科医の嶺本政久先生より、③「自主保健管理能力を高める教育的健康診断の取り組み」を主題とし大分県立別府羽屋高等学校教諭の河野和美先生よりそれぞれの発表が行われました。

①では、歯や口の健康づくり年間学習指導計画を作成し子供達の歯、口に対する知識や関心が高まり、効果を上げている状況の報告がありました。また親を含めての染め出し、歯みがき指導の実施が印象的でした。

②では、嶺本先生より、学校と接する短い時間の中でいかに効率よく子供達に関心を持ってもらい効果を上げていくかの工夫と苦勞が報告されました。また学校の担当教諭が転勤してしまうことによる事業の継続性への懸念もうかがわれました。

③では、すでに学生が自立しつつある高校生であるということから、いかに学生の自主性から自分達の健康に興味を持ってもらうかという工夫が報告されました。なお当方よりの質問で

ある「矯正治療が必要かと思われる学生に対する対応への考え方は？」に対し、本人及び家族の自主性に委ねているという返答をいただき、臨床現場の歯科医師と同様の意識を持っておられ安心した次第でした。満員の会場で、活発な意見が交換されました。

(前田明浩)



第7分科会では、「家庭及び地域社会と連携した健康増進活動」というテーマで、小子化、核家族化の進む中で、生涯にわたって健康な生活を営むために家庭及び地域の諸団体と連携した、健康増進活動の推進について研究協議された。

教職員・PTA会員・学校医・学校歯科医の話し合い型から、公開・体験型をめざした学校保健活動を行っている様である。

(井手裕二)

以上レポート報告により各分科会において活発な質疑応答があり盛況のうちに閉会した。

今後ますます学校保健会のあり方が問われる中で学校歯科医の積極的な参加が求められていた。

(澤木孝明)

スタッフレベルアップセミナー開催

「在宅診療介護における口腔ケアとアシスタントの実際」



7月15日（土）午後2時30分より熊本県歯科医師会館3階にて「在宅診療介護における口腔ケアとアシスタントの実際」というテーマで講義と相互実習が行われました。各医院より46名の歯科衛生士・歯科助手・看護婦が参加して熊本市歯科医師会在宅訪問歯科主任の本田志保子歯科衛生士を講師に迎えて臨床に役立つ大変内容の濃いセミナーを行いました。



まず、熊本市歯科医師会会長の関剛一先生の挨拶の後、早速研修室にて本田講師によりスライドを使つての総説の講義がありました。寝たきりと言ってもその程度により、生活自立できる「J」から、完全寝たきりの「C」ランクまでの差があり、どのランクに当てはまるかで、その対応も違ってくるとのことでした。

その後、実際に訪問介護された患者さんの口腔ケアの実例を出しながら、講義が進められました。「脳血管障害で片麻痺のある方は、誤飲を起こさないように麻痺のある方を上にして治療やケアにあたる（健側傾斜）」「顎と床が平行になるようにすると気道が塞がって事故が少なくなる」「言葉が出ない人もいるので、表情を観察するためタオルなどは顔にかけない」など、我々がうっかり見過ごしがちな細かい点を再認識させられました。また、ターミナルケアにおける歯科の大切さにも触れられ、口腔ケアを行う事によって患者さんが人間らしい生活を取り戻す事ができ、ADLが上がるとともに家族のQOLも上がって来ると言う事でした。どの患者さんも初診のスライドでは無表情が憂鬱そうな顔をされているのが、口腔ケアを続けるうちに素敵な笑顔に変わってくるのが印象的でした。



約1時間の講義の後、5人の在宅協力の歯科衛生士を加えて3人一組となって次のプログラムに沿って相互実習に移りました。

- (1)キシロカインゼリーを口唇、舌、口蓋、頬粘膜の片側に塗る。
- (2)ゼリーを塗った側の頬から顎にかけてガムテープを貼る。(片麻痺の再現)
- (3)お菓子を食べる。(ケーキ)
- (4)口腔内を観察する。
- (5)ケアを行う。

車椅子、ベッド、床の上など様々なシチュエーションで実習が行われ、講師の熱心な指導と受講生の真剣な態度で予定の時間では足りない程でした。その後受講生一人一人に本田講師より受講証を手渡していただき終了いたしました。



最後に出席者のアンケートを提出してもらいました。内容は、「大変良い」が大多数でした。また在宅訪問歯科診療及び、口腔ケアの経験は、

3/4がした事があるとのことでした。自由意見では、講義は分かり易く、口腔ケアの大切さが良くわかったとか、それによってQOL等が改善されるのも理解できたという意見も多くありました。また実習で、キシロカインゼリー、ガムテープでの麻痺体験は、患者の不自由さも理解でき、特に食物、唾液の溜まることの不便さ、実際の口腔ケアの難しさもわかり、また要点がわかり大変良かったとの意見がほとんどでした。



これからも、このようなセミナーを継続し、スタッフのレベルアップを計る事が必要だと思っています。

(医療管理 村上辰郎)

第9回 熊本市在宅寝たきり老人等歯科保健運営協議会



8月1日標記運営協議会が県歯会館2階会議室に於いて行われました。この事業は平成3年にスタートし10年目にはいっております。当時の熊本市の寝たきり者の数は各保健所、保健センター（現保健所、保健福祉センター）で調査したところ500名程でした。その内約70%の人が歯科治療を受けたいという希望を持っておられたので、平成3年に健診事業を始めたわけです。寝たきり者はリスクが大きく心配でしたので当時の熊本市医師会会長柏木明先生に相談したところ、医師会全体で協力してもらうことができました。おかげ様で10年目を迎えましたが1件の事故もなく無事にやってこれました。全国でもまれな取り組みであり熊本市民に高い評価を受けております。本事業をよりよく推進する為に運営協議会を年1回開催しているところです。

＜運営協議会構成団体＞

- 熊本市医師会
- 熊本市健康福祉局
- 熊本市市民病院
- 熊本市民生委員児童委員協議会
- 熊本県歯科衛生士会
- 熊本市歯科医師会

報 告

- 1) 平成11年度熊本市在宅寝たきり老人等歯科保健推進事業実績報告
- ・平成3年度から平成10年度までは右肩上がり

で実績が伸びてきましたが平成11年度は前年度に比較して申し込み数、受健者数、訪問者実数ともに50名程減少しています。ちなみに訪問者実数は279名でした。



2) 事例報告

2次医療機関である市民病院から4件の報告がありました。

- ・2件が2週間程の入院で抜歯、抜髄処置を行ったこと。1件が顎嚢胞手術を行ったこと。もう1件が良性腫瘍の手術を行ったこと。

協 議

- 1) 平成12年度実施要領に関する件
- 2) 平成12年度事業に関する件
 1. 要介護・要支援指定を受けた在宅患者の取り扱いについて
 2. 保健福祉センターにおける申し込み方法について
 3. 実施状況報告書の変更について

(蔵田幸一)

委員会だより

学校歯科委員会

第21回熊本市学校保健合同研修会



6月27日(火)熊本市産業文化会館に於いて、学校保健総会並びに学校保健合同研修会が開催されました。総会の席上学校保健功労者の表彰があり、本会会員より中川順一先生、木庭邦夫先生、井上熊男先生が表彰されました。

総会に続いて「自ら進んで健康生活を実践する児童生徒の育成」～豊かな心を育てる健康生活の在り方を求めて～を主題として、熊本県福祉総合相談所判定課長の小原守雄氏による「保護者にとってのこころの健康づくり」～子供のこころの健康の向上と予防の取り組み～の講演が行われました。(津野田 稔)

公衆衛生委員会

平成12年歯の衛生週間無料歯科相談実施

6月5日(月)熊本市役所1階ロビーにて「無料歯科相談」が行われた。これは熊本市及び熊本市歯科医師会の主催によるもので、熊本市民を対象として口腔衛生の啓発を図るために毎年行われている。

今年も熊本市歯科医師会の公衆衛生委員会、学校歯科委員会、熊本県歯科衛生士会、また熊本市からは健康増進課、保健所、各保健福祉センター担当者の協力の下、無料歯科相談が実施された。

相談者は中高年者が多く、義歯や歯周病に関する質問が多いようであった。

相談コーナーのほかに衛生士会や各保健所担当者によるブラッシング指導コーナーもあり、指導を受けている相談者は皆、熱心に耳を傾け

ていたことが印象的であった。



又、口腔内カメラや位相差顕微鏡なども関心と呼んでいた。

当日訪れた相談者は126名におよび市民の口腔衛生への関心の高さがうかがわれた。

(杉野弘武)

医療管理委員会

特別管理産業(感染性医療)廃棄物処理実績報告書相談会

地球環境や社会問題として廃棄物処理は重要視され、歯科診療所より排出される廃棄物も適正に処理し、管理責任や処理実績の報告の義務が課せられています。平成11年度の上記相談会を6月22日(木)午後7時30分より熊本市歯科医師会にて開催致しました。

本相談会は委託業者による報告書の仕上げ、各診療所より個別提出が主となり、記入相談者、提出者19名と少なくなっています。毎年の報告者は85%～90%であり、熊本市減量美化推進課の協力で、未提出者や問題のある委託処理業者がないか、委員会でも処理料金に異常な違いがないかを調査していますが現在歯科では大きな問題はないようです。

平成4年7月の改正廃棄物処理法で非感染性、感染性廃棄物に分離以来、10年12月よりは全ての排出物は廃棄物の管理票(マニフェスト)の対象となってきました。毎年6月末に提出する報告は使用済の注射針や血液汚染物等の特別管理産業廃棄物ですが、非感染の一般産業物も含まれるものがあつたり、統一様式以外の報告書もあつたり、また、実績のない場合の無届けもありますので、注意が必要かと思われます。

(藤波好文)

委員会紹介

社保委員会



- ①氏名
- ②開業場所
- ③家族構成
- ④最近感動したこと・憤慨したこと
- ⑤委員会に所属しての感想
- ⑥趣味



①河野哲朗委員長

②熊本市川尻6-9-109 川尻支部

③母 富栄

妻 素子

長女 佐代子

次女 那央子

長男 克明

④有珠山、三宅島、東海地方、大洪水等自然の怒りが、人間に向いてきているような気がします。

⑤保険改定のたびに事務が煩雑となります。今回介護保険と医療保険との区別がわかりにくい様です。少しでも解りやすく説明ができたらと、思っています。

⑥長男の野球に夢中です。



①松本光示副委員長

②熊本市出水5丁目704-3 同仁堂2F 東部2支部

③妻

長男 8才

長女 6才

次女 2才

④最近の若者の凶悪犯罪とその刑の軽さ

⑤ますます厳しい保険点数。少しでも皆さんの役に立つ様に勉強していきたいと思ひます。

⑥ゴルフ・音楽鑑賞



①金本良久委員

②熊本市新大江2丁目9-1 東部1支部

③妻 祐美子

長女 美咲 7歳

次女 春花 3歳

長男 大輔 1歳

④月刊ジャンプで連載中の「リトル〜神様修行中〜」で感動してます。

⑤社保委員としてもっとしっかり勉強して、少しでも会員の先生方のお役に立てるよう頑張ります。

⑥バドミントン

.....



①渡辺 洋委員

②熊本市花立3-3-26 東部4支部

③妻 明子

長男 元次

長女 祥子

次女 和佳子

④路上にすわり込んでいる若者・・・・きたならしい

子供とゲーム(ゴルフ)を楽しんでいます。

⑤日々の診察と直結していることなので慎重かつ迅速に行動したいと考えています。

⑥スポーツ・家族サービス

.....



①福田忠彰委員

②熊本市湖東1丁目12番19号 東部4支部

③母 閨子

妻 伸子

長男 高大(2歳)

④青少年の凶悪犯罪

⑤微力ながら会員の先生方のお役にたてればと思っております。

⑥ゴルフ

委員会紹介

学校歯科委員会



- ①氏名
- ②開業場所
- ③家族構成
- ④最近感動したこと・憤慨したこと
- ⑤委員会に所属しての感想
- ⑥趣味



- ①津野田 稔委員長
- ②熊本市水前寺6-41-22 東部2支部
- ③両親
- ④長引く不況の中で起きる青少年の殺傷事件。学校・家庭・社会がもっと連携をとれないものでしょうか。
- ⑤3期目の学校歯科委員会となりました。今年から歯磨き巡回指導が大きく変わりますので多少不安ですが頑張りたいと思います。学校歯科医の皆様の御協力を宜しくお願い致します。
- ⑥ゴルフ・ドライブ



- ①弘中一郎副委員長
- ②熊本市近見6-16-29 川尻支部
- ③妻 美貴子
- ④開院10年目突入！
- ⑤個々のパフォーマンスが重要ですね。
- ⑥ラテン音楽・スペイン語(un poco)



- ①岩井泰介委員
- ②熊本市水前寺1-17-32 石本ビル2F 東部2支部
- ③妻 真理子
長男 宏平 中2
次男 裕和 小5
- ④ついに長男に背の高さで追い越されてしまいました。体重と座高ではまだ負けていません。
- ⑤初めての委員会でもまだ全体的な状況がのみこめていませんが、楽しく頑張っていきたいと思っています。普段交際範囲の狭い私には、委員会終了後の雑談も楽しいものです。
- ⑥連休には家族でキャンプに出かけます。



①前田明浩委員

②熊本市健軍3丁目51-16 大進ビル1F 東部4支部

③妻 和美

長男 耕陽 5歳

長女 絵里佳 1歳

④最近感動したこと

長女が言葉を話し始めたこと。帰宅した際に「パパ」と言って抱きついて来るエリカは私的には紀香よりかわいい!...バカ親。

最近憤慨したこと

同じく長女が、家の壁やソファに落書きをすること。やめてくれー、まだ23年もローンがあるんだぞ!

⑤始めて委員会の仕事をさせていただき、多くの先生方が夜や平日の昼など、本来の仕事で疲れていたり、或いは休診してまで委員会の仕事をされているのを知り頭が下がりました。私も少しは役に立てるようにお手伝いさせていただこうと思います。

⑥仕事・車の情報を集めて次は何を買おうかなーと夢をみる。本当は欲しい車を全部買いたい!・ヘタなテニス・飲み食べ歩き



①井手裕二委員

②熊本市水前寺6丁目1-14 東部2支部

③妻

長男 2歳

④有珠山、三宅島そして東海地方の豪雨による浸水等の自然災害の猛威。そしてヤワラちゃん、金メダル、決勝の内股一本勝ち

⑤初めて委員会の仕事をするので、右左もわかりませんが、少しでもこども達のむし歯を減らすことができればと思っています。

⑥ドライブ・自転車・バイク



①吉崎久次委員

②熊本市大江2-15-2 東部1支部

③妻 志保

長男 幸一郎 7歳

次男 裕二郎 2歳

長女 ひかる 0歳

④オリンピックには、いつも感動!人種・国を問わず選手たちの鍛えられた身体と精神力がぶつかり合い、そこには友情と本当のドラマがあるから。あと仕事の面では、保険改定で“かかりつけ歯科医”という表現がまだなんとなく違和感を感じ、理解しがたい。

⑤とりあえず楽しく、お手伝いできればと思っています。

⑥野球と遊ぶための体力づくり。



①山口一彦委員

②熊本市桜木1-12-30 東部4支部

③妻 美穂

長女 舞

④子供の成長の早さにびっくりしてます。

⑤みなさんまじめな方ばかりなので、私もまじめにがんばろうと思います。

⑥硬式テニス

三 齒 会 座 談 会

三齒会のより一層の結束と対外的アピールの強化を！！

平成12年9月1日(金)午後7時30分より、県歯会館3階ホールにおいて熊本市三齒会が開催された。

歯科技工士会から西山会長ほか4名、歯科衛生士会から植会長ほか6名、本会からは学校歯科、広報、医療管理の各委員会から10名の委員が出席した。

藤波医療管理委員会理事の「この場で結論を求めず、色々な問題提起で話し合う目的で臨んで欲しい」という開会の辞の後、出席者の自己紹介を行い座談会が始まった。



○技工士会からの話

- ・県の技工士会と協力して無資格者の一掃を行いたい。(技工所管理者の講習会を予定)
- ・現在各技工所で作っている技工指示書を歯科医師会で統一してもらえないか。
- ・最近会員数が減少傾向にあるので苦慮している。(入会するメリットを強調するものが少ない)

○衛生士会からの話

- ・10月の健康フェスティバルの歯科相談コーナーは3団体で協力して充実させて欲しい。
- ・保健所からの歯科衛生士講習会に歯科医師

会も協力して欲しい。

- ・県の会員数が約900名いて全国的にみてもかなり上位の組織率を維持している。(非会員には、個人で勉強するより会員多数で行ったほうがやりやすいし、情報も得られやすい等強調している)



○歯科医師会からの話

- ・歯科医師会の広報誌を利用して欲しい。
 - ・健康フェスティバルや新樹会のイベント等積極的に参加協力して欲しい。
 - ・歯科医師会主催の講習会に他会の参加ができるように協力したい。
- 等活発な意見交換が行われた。

最後に司会進行を務めた尾上委員長が「三齒会の更なる結束と対外的なアピールの強化を目指そう」と結び、沢木学校歯科担当理事の閉会のことばをもって会を終了した。

(医療管理 清川恵治)

「そんなにエライか、EBM」

清 村 正 弥

ここ数年、EBMという言葉やその考えに基づく論文や発表が目につきます。EBMはEvidence Based Medicineの略で、歯科ならばEBDです。

この小論では、

- 1) EBMの概要
 - 2) EBMと日常臨床
 - 3) EBMの問題点
 - 4) EBMは役立つのか
- を考察してみたいと思います。

1) EBMの概要

直訳では科学的根拠に基づく医療、ということになります。医学・科学文献の批判的検証評価法を發展させたものとして、カナダのMcMaster大学で提唱され、欧米を中心に広がった考え方で、医療におけるグローバル・スタンダードになったと言えます。

これはまた、DOS (Disease Oriented System) やヒトを対象としない非臨床的研究より、POS (PatientまたはProblem Oriented System) や臨床研究に重きを置く考え方でもあります。EBMが上手く働けば、新卒の歯科医でも歯科大の教授でも、ある症例に対して同一の治療法を選択する、ということになります。

EBMは次のような段階を含むとDixonらは述べています。

- 臨床医学上の患者のタイプ、暴露や介入、転帰に関する問題の提示
- 再現性のある検索手法を用い、明白な判定基準*により論文の数を限定したMEDLINEによる文献検索

*例えば、無作為化対照試験に限定する、というようなcriteriaを設定します

- 妥当性を評価し有用なデータを抽出するために発表されている、8つの研究の手引きのひとつ

つを利用**

**1) 治療、2) 診断的検査、3) 概要 (overview)、4) 予後、5) 因果関係や害、6) 臨床的判定、7) ケアの質、8) 経済性評価 (注) (注) 経済性評価に関しては、開業医である我々は特別な注意を払う必要がありますので別途後述します。

- 前述の段階で臨床シナリオに対する問題がどの程度解決されているかを評価

ちょっと難しい言い回しで理解しづらいと思います。要は科学的根拠とそれを生かした医療行動が必要だよ、と言っているわけですが、しかし今までの歯科医療も科学的根拠を無視して行われていたという訳でもありませんし、科学的根拠という概念自体はもっと前から存在していました。

では一体、EBMの何が新しいのでしょうか。

従来いわれてきた根拠と、EBMでいうところの根拠とは、その指し示すものの「質」が違う、ということになります。従来の根拠は「概念」であり、EBMではそれが術者の「行動様式」になります。

今日、我々歯科医が入手できる臨床研究報告の数は膨大なもので、それらの全てに目を通し、内容を理解して、自分の臨床に回帰させ、実際の患者さんに応用し、確たる予後を予知するなど、到底不可能であると思われます。そこで、これから行おうとする歯科臨床行動の結果の「質」を予想し、患者さんにとっての最良の治療法を選択することが出来るようにするためには、行動の基準、根拠が必要となります。EBMはこれを提供してくれるものです。

しかし、その為には、臨床歯科医の誰もが研究論文を批判・吟味でき、選択した治療法に科学的根拠があるのかを知り得る具体的客観的方法を

身に付ける必要があります。

では、如何なる種類の研究結果が科学的根拠を持ち得るのかを考えてみます。

臨床歯科医にとって科学的根拠となり得て、信頼できる研究とは、基本的にヒトを用いた実験・治療のデータに基づいていなければならない、実験のデザインやデータの解析も信頼できる方法で処理され、再現性の良いものでなければならない、とされています。(このような実験が膨大な時間と労力、それにお金を必要とすることは言うまでもありません)

米国保健政策研究局 (Agency for Health Care Policy and Research, 1993) によると、研究はその科学的根拠の質により分類でき、信頼性の高い順に次の6段階となるそうです。

I a: 複数ランダム化比較試験(RCT*)のメタ分析による

I b: 少なくとも1つのランダム化比較試験による

II a: 少なくとも1つの良くデザインされた非ランダム化比較試験による

II b: 少なくとも1つの他のタイプのよくデザインされた準実験的研究による

III: 比較研究や相関研究、症例対照研究など、よくデザインされた非実験的記述的研究による

IV: 専門家委員会の報告や意見、あるいは権威者の臨床経験

*RCT: Randomized Controlled Trial

でも、これではちょっと解り難いので、平成11年9月19日(日)午後の福岡県歯科医学大会(於福岡県歯科医師会館)での古谷野潔教授(九大歯学部第二補綴)の解説を流用します。

根拠に基づく医療EBMとは、

「最近までのデータのうち、信頼できるものに基づいて、理にかなった診療を行うこと」

(福井1998)

臨床研究の結果を入手すること

結果の吟味をする

吟味の方法を習得すること

医療効果の中身の分析をすること

1) 自然治癒

2) ホーソン効果

3) プラシーボ効果

1)~3)を引いた残りが、実際の正味分の治療効果

「きっとそうだ」

前述のRCT。最も信頼度が高い

「そうらしい」Cohort(prospective) study。前向き研究

症例と、対照を突き合わせて、ある時期だけではなく、何年間も追跡したもの
まず予後因子を集めて、最終的にそれぞれの患者がどうなったかをみる

「そうかな」Case-controlled study。後ろ向き研究

症例と、対照を突き合わせ、2群では何の予後因子が違ったかを研究したもの

「かもしれない」Case-study

症例を数十例集めて、こうだった、と報告する方法

「なるほど(ふーん)」

authorityの意見。一番信頼度が低い

これで、確からしさの差を実感していただけたものと思います。

ここで、改めて私達がよく参加する勉強会や講演会での講師の話思い出してみ下さい。症例報告が中心であるそれらのほとんどが「かもしれない」か「なるほど(ふーん)」にしか該当しないのではないのでしょうか。でもEBM的には申し分のない証拠で固めた講演会は、逆に言えば聴いていてちっとも面白くない講演会である可能性があります。先日(平成12年8月27日)に行われた日歯生涯研修セミナーでも、講演終了後、会場からの質問にお答えになった講師の先生が「新しい治療法の効果を認知するには、5年間で少なくとも50症例を集めて…」と回答なさっていましたが、この答えもEBM的な見地から見ると、「かもしれない」にしか相当し得ないことになります。

ところで、臨床研究論文の結果が表すものとは一体なんでしょうか。それは、

1. 真実
2. バイアス(最良目、偏見、思い込み)
3. 偶然

この3つのうちの何れかです。

すべての臨床研究論文が常に真実をあらわしていれば良いのですが、実際にはそうではありません。前記の古谷野教授の話でご理解いただけるように、バイアスを考慮するために研究デザインの検討がなされ、偶然を考慮するために統計学が必要となります。臨床研究論文の内容を理解するには、バイアスと偶然が如何にコントロールまたは考慮されているかをも知らねばならないのです。

2) EBMと日常臨床

目の前の患者さんにある治療法を適用しよう、と思いその根拠を求めたいと考えたとします。その際に我々ができなければならない行動は次のようになります。

Step 1 患者の問題の定式化

1. 患者の問題をカテゴリー別に分類できる
2. 患者の問題をpatient, exposure, outcomeの3要素で定式化できる
3. 患者中心のoutcomeの設定ができる

Step 2 情報収集

1. 問題解決のための情報源の種類と特徴を知っている
2. MEDLINEに含まれる文献情報の構造を知っている
3. MEDLINE検索の標準的な検索式を知っている
4. 検索された文献リストから重要な論文を選択できる

Step 3 批判的吟味

1. 治療の論文に批判的吟味の公式を適用できる
2. 治療効果を表す指標の種類と特徴を知っている

3. 危険率、信頼区間の定義を知っている

Step 4 患者への適用

1. 論文の医療環境と実際の医療環境の違いが分る
2. サブグループ分析の問題点が理解できる
3. 論文の内容を患者に説明できる

いかがでしょうか。それぞれの内容の詳細は、成書に譲りますが、しかるべきトレーニングが必須であり、簡単には行きそうもないな、と私には思われます。

3) EBMの問題点

項目の最初にお断りしておきますが、この項に関しては全て著者の私見であり、ここでいう問題点が一般的に認知されているものではありません。

- ①前述のように、ある程度の知識と情報源へのアクセス手段を確保していないとEBM的手段は利用できません。
- ②ある治療法に関してEBMの情報が存在しなければ、いくら臨床的実感が良くてもその治療法は「信頼性を欠く」ことになってしまうし、極端には民間療法と差異がなくなってしまう
- ③EBM的には既知の情報が存在していないある治療法を、私達がEBM的手段で評価をしようと思っても、実際のところ開業医には不可能であると思われます。
- ④ある臨床的治療法の有効性を示唆する基礎研究をいくら積み上げても、あるいは参考にしても、臨床研究の結果報告が存在しなければ、EBM的には意味をなしません。
- ⑤EBMという概念の導入前から同じ状況でしようが、新しい治療法の評価では、その治療法に関してのEBM的な評価は未確定なので、新治療法の評価自体は「首実検」にならざるを得ません。臨床の評価の固まった治療法に評価の力点を置くEBMの自己矛盾ともいえます。
- ⑥全く新しい知見に基づく治療法に関して、EBMは無力である。結果旧来的保守的治療法にし

か評価が与えられない可能性があり、新規治療法の導入の障壁にもなりかねません。

⑦治療結果の経済的評価(費用対効果など)が確立すると、治療法や投薬内容の決定に際して、(歯科)医学的な評価の良し悪しとは違う次元での診療内容への圧力が増す。医科という外総診のような形の医療が要求される。

①で述べた内容にはMEDLINEを利用するにあたり、英語使用を要求されることも含まれ、さらにはネットに繋がったコンピュータの操作も必要となります。

②では、現在、歯科臨床で行われている治療の殆どには、この意味でのエビデンスは存在してないこととなります。例えば、私が興味を持つ歯科治療分野の一つである接着歯学に接着ブリッジというものがあります。15年ほど前に一世を風靡したのですが、臨床応用から3、4年経ったところから脱落、2次カリエスや歯髄炎が多発し、「悪魔のブリッジ」とまで評価する臨床家もいたほどです。しかしその後も接着の基礎及び臨床研究は広くまた深く行われ、当時の接着ブリッジのどこに問題があったかも明らかにされています。現在のわたしの臨床実感では、外れることも2次カリエスになることもなく、優れた結果が期待できると思いますが、これほど毀誉褒貶の激しい臨床術式でも、きちんとした形式に則した臨床報告が存在しないので、EBMでは良いとも悪いとも結論が出せる状況ではありません。

③では、証拠がないなら自分でそれを確立しようと考えても、推奨される実験デザインの中身を考慮すると、一開業歯科医には恐らく不可能でしょう。それは、莫大な費用、時間、労力を必要とするからです。

④学会誌などに掲載された、「信頼性が高い」と思われる論文でも非臨床報告ではエビデンスにはなり得ません。最近話題の歯周病治療剤「エムドゲイン」でもここで言う意味での臨床的証拠となりえる報告はたったの数報しか存在していないそうです。

⑤大学なり公的機関なりでEBM的なデータを出そうとする際には、被験者には十分なインフォームドコンセントがなされるでしょうが、臨床首実検であることには変わりありません。この意味でも開業医でこれを行うのは困難だと思います。それ故、臨床治験はその結果が有効なものになるべく、優れた実験計画とデザインを要求されるものです。

⑥例えば、最近話題を呼んでいる抗真菌剤による歯周病治療における推進者の言い分と、日本歯周病学会をはじめとする反対陣営の論陣は、この典型と言えると思いますし、前述のごとく開業歯科医が、この治療法にEBM的臨床評価を下すのはかなり困難だと思います。余談ながら、日本歯周病学会の主張は所謂「学会の権威の意見」ということになり、EBMでは最も信頼性の低い根拠、ということにもなります。これも矛盾といえましょうし、推進派と反対派では、歯周病治療の目的(エンドポイントと言います)に一致が見られず、議論が噛合うはずありません。

⑦経済的な観点からEBMを利用しよう、という動きはアメリカで最も盛んです。医療費抑制を主眼とした証拠主義の医療経済学的管理医療を特に「マネージドケア」と呼び、その行き過ぎた行使には、医者側からも患者側からも不平が鬱積し、現在アメリカのマネージドケアは反省期にあるようです。一般的なアメリカ人はメディケアまたはメディエイドの公的健康保険加入者を除けば、医療保険に加入しようと思えば民間の保険会社と契約するしかないとのことですが、この保険会社は基本的には営利追求の民間会社なので、支出抑制を図るのは当然で、例えば、「10ドルの出費で10の治療効果より5ドルの出費で8の効果」のある治療や投薬しか自社の保険では契約者に給付しないのです。日本の健康保険にこの考え方が全面的に導入されたら、と思うとゾッとします。患者さんに用いる治療法の選択権は、術者ではなく、患者さんにも存在せず、ひとえに保険者にあるのです。そしてその治療法は通りいっぺんのものしか許されず、「術者の匙加減」は存在し

えなくなるのです。もっともアメリカでは歯科治療はここでいう民間保険の給付対象には元々含まれていないそうですが、つい半年前の私自身の経験をここに記します。自賠責を扱う日本の最大手の損害保険会社は交通事故による歯牙損傷での治療に、メタルボンドのブリッジは認めていますが、治療費にさほど違いのないインプラント(その症例ではGBRも併用しましたが)は給付対象としておらず、結局、患者さんの自腹になりました(患者さんは加害者に請求)。この件に関して私がその損保会社に問合せたところ、「その治療法の妥当性を証明できるデータが会社にはないから」という答えでした。

4) EBMは役立つのか

今まで、私の思うところのEBMの「短所」ばかり列挙してきましたが、しかし私はEBMが役に立たないものであるとは思いません。

ある治療法の有効性が科学的に証明されているのかいないのか、が解るだけでも臨床は大変有意義なことでしょう。こう考えると気楽になります。有効性が証明されていない(無効であることが証明されていることとは違います)治療法は選択してはいけないのではなく、有効性が証明されていないことを理解したうえで、実際の臨床にあたればよいのです。また、ある治療法が有効である、というときにはその命題が扱っているエンドポイントが何であるかを常に意識しなければいけません。例えば歯周病が治癒した、というときに何をもってそういうのか、ということです。この命題に関して日本歯周病学会はエンドポイントをアタッチメントゲインに求めており、前述の抗真菌剤に価値を認める一群の開業医は歯肉腫脹の減退や歯牙の動揺減少や患者さんの主観などに代替エンドポイントを求めています。このようにエンドポイントにずれがあると、お互いの主張は全くかみ合わないものになります。(この問題では本年8月号の某歯科商業誌にRCTに近くなるような実験デザインを組んだ臨床報告が掲載されていました)。

また明かに臨床上有効であるものに関してはいまさらEBMなど持ち出さなくてもよいでしょうし、証拠がなくても一般的に全身の健康増進に役立つものはEBMなど必要としないでしょう。例えば歯周病のリスクファクターとしての喫煙の影響などです。

EBMを厳しく推し進めていくと、今の健康保険で認められている治療法では、その殆どに有効性について疑問が生じるのは必定です。良きも、また悪きも理解した上で、EBMを上手く利用したいものです。

●●● こんにちは 私が支部長です ●●●

— Part 1 —

市歯科医師会は現在12の支部に分けられています。

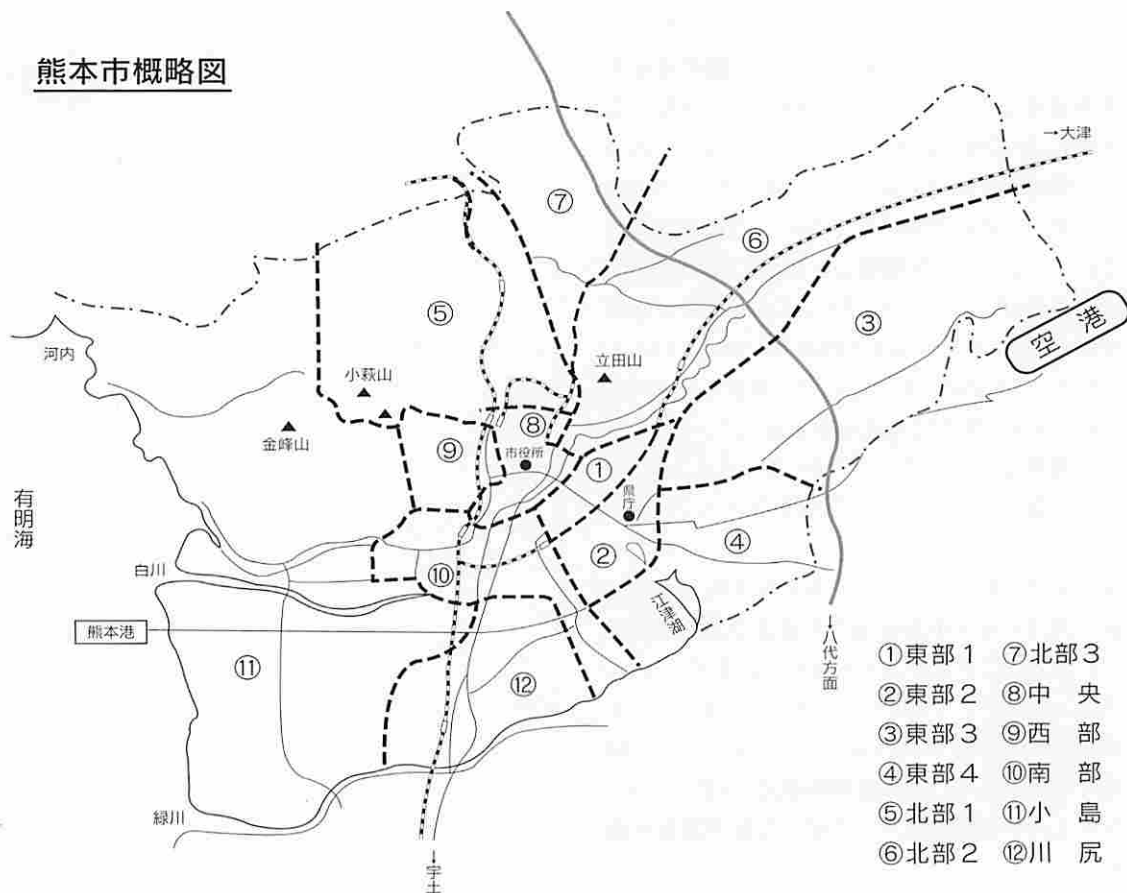
(北部1. 2. 3、西部、南部、小島、川尻、中央、東部1. 2. 3. 4)

若い会員の先生には支部の区分けがどうなっているのか御存知ない方も多い事と思います。また年輩の先生には他の支部が何をやっているのか興味のあるところではないかと存じます。そこで今回皆様に各支部の支部長を紹介し、支部活動や支部の特色などを知っていただこうと考えました。さてこの企画、うまくいったかどうか。支部区分けについては、概ね下図のようになっています。詳しく知りたい方は、市歯事務局に詳細図がありますのでそちらをご覧ください。

支部の構成人数が30名を越えるところもあり、他の郡市の歯会の人数に互するところも多くなっています。ただ人数が多ければ良いわけでもないのですが、支部会としての自立と自覚をもち、本会活動に今以上に積極的に取り組んでもらえたらと思います。

今回は12支部のうち北部1・2・3、南部、小島、川尻の6支部の紹介を致します。

熊本市概略図





＜アンケート＞

- ①支部の概要
支部会員数、支部長名、経歴など
歴代支部長（敬称略）
- ②厚生事業の有無
- ③支部の特色（雰囲気）
- ④支部で取り組みたいと思っていること
（支部長がこうしたいと思っていること）
- ⑤市歯科医師会に対しての要望、希望



田中 宏支部長
(66歳)
支部長経験年数17年

①北部1支部 支部会員数22

支部長経歴

昭和35年3月 九州歯科大学卒業

熊本市民病院、熊大病院、鹿児島県出水郡野田村立病院、国立熊本病院等の各歯科勤務。この間、熊本医学部第一解剖学教室にて研究、昭和49年10月1日現在地に開業し、現在に至る。

前支部長 弥政富士雄

前々 山内 涇

②春、支部総会、秋に暑気払いの懇親会

年末に忘年会(3年前より、新年会を行っている)

ボウリング大会(5年前より、人気がなく中止している)

③毎回、会員の先生のご協力で、とても楽しい集まりです。

色々と、勉強になる話が多く、将来が楽しみです。

④高齢の先生を囲んで、お互いに話をし、色んな事を知りたい。厚生事業や、旅行については、支部単位では実現がむずかしいが、会単位では実現出来る事もありますので宜しくお願いします。

⑤以前はバレーボール、ボウリング大会があって、従業員の方との対話がありました。年齢的な立場で、身体が動かなくなった事もありますが、隔年毎でも実現して下さい。



田中弥興支部長
(46歳)
支部長経験年数0年
今年より

①北部2支部 支部会員数25

支部長経歴

昭和55年 明海大学歯学部卒業

昭和55年熊本大学医学部歯科口腔外科入局

昭和58年大林医科歯科診療所勤務

昭和61年11月現在地にて開業

前支部長 杉野信孝

前々 緒方孝則

その前 岩本義人

②忘年会

市歯科医師会主催ビアパーティーへの参加

③先日、開催された支部総会は北部2所属医院の半数以上が参加するという大変な盛り上がりで、私が目指す2つの目標の内の1つ、支部会内の親睦は初回から達成された感があった。あとは、残りの目標である情報公開として支部長会等の内容をできるだけタイムリーに伝える事を実行して行けば、益々盛り上がっていくと思われます。

④会員相互の親睦をはかり、情報伝達を迅速に行い、会員からの要望、希望を会の方へ伝えてまいりたいと思います。



斉藤 健支部長
(64歳)
支部長経験年数9年

- ①北部3支部 支部会員数19
H3年4月より北部3支部発足と同時に支部長就任
- ②忘年会 支部の会員の方並びに会員の御家族に御不幸があった場合出来るだけ支部の会員でお手伝いをする事、又支部としてお花か弔慰金をお供えすることにしています。
- ③年齢差に関係なく、又お互いに気兼ねや遠慮する事なく和気藹々と会話が出来る事。
- ④会員の皆様が一人でも多く支部の集まりや歯科医師会の新年会や親睦会等に出来るだけ出席して戴きたいと思っています。
- ⑤特別にございせんが私が思いますに、現執行部の皆様方は少ない限られた予算の中で精一杯頑張っていると思います。多少の不満、又は要望はありましては会員324名の皆様を全て満足させる事は難しいと思います。



鬼塚友文支部長
(45歳)
支部長経験年数0年
今期より

- ①南部支部 支部会員数38
支部長経歴
昭和56年 福岡歯科大卒
昭和58年 熊本市春日にて開業
前支部長 古川猛士
前々々 谷川貞男
その前 富田久之
その前 柿原康男
- ②毎年、1月に新年会
- ③以前行われていた、バレーボール大会で築いたチームワーク、試合後の打ち上げでの大変な盛り上がり、そんな親睦の和を今でも大切にしている支部です。
- ④支部でミニバレーボールチームを作り、いい汗をかき、日ごろの運動不足やストレスを解消したい。
- ⑤診療に専念できる医療経済環境作り



奈良健一支部長
(47歳)
支部長経験年数3年

- ①小島支部 支部会員数13
支部長経歴 神奈川歯科大卒
前支部長 坂元和彦
前々々 赤城公徳
- ②新年会だけの1回です。
- ③少人数で年齢があまりはなれておらず、まとまりのある支部だと思います。
- ④年に1回ぐらいいは小旅行でもしたいと思っています。
- ⑤若い先生方をどんどん委員会に入れて、会の良い点を吸収していただきたい。



丸田兼堂支部長
(48歳)
支部長経験年数0年
今期より

- ①川尻支部 支部会員数17
支部長経歴
昭和58年 福岡歯科大卒業
平成2年 ちかみ歯科開業
前支部長 江田雅彦
前々々 河野哲朗
その前 成松賢二
その前 久保田晴一
- ②忘年会、新年会(社保説明会)、ボウリング大会etc
- ③明るく親しみやすい支部
- ④もっと厚生事業を充実させ支部の先生(家族)方の健康の管理と親睦をはかりたいと思う。
- ⑤将来への歯科経営の安定
一般市民への会員と非会員の違いのアピール(できる範囲で)



スポーツの広場



トーナメントゴルフ会

平成12年4月23日

15名

	O	I	G	H	N
優勝 内田 隆	40	45	85	11	74
2位 宮崎 幸一	46	47	93	17	76
3位 寺島 美史	51	56	107	30	77
4位 井口 泰治	47	44	91	14	77
5位 合沢 康生	41	50	91	13	78
B.B 本田 治夫	49	54	103	15	88

熊本デンタル

平成12年5月28日

空港カントリー

12名

	O	I	G	H	N
優勝 稲葉 逸郎	39	40	79	4.8	74.2
2位 大嶋 健一	42	44	86	8.8	77.2
3位 工藤 隆弘	45	45	90	11.8	78.2
4位 小田 和人	43	45	88	9.6	78.4
5位 甲斐 利博	41	42	83	4.0	79.0
B.B 坂梨 常太郎	44	51	95	12.0	83.0

平成12年5月28日

10名

	O	I	G	H	N
優勝 合沢 康生	43	41	84	13	71
2位 井口 泰治	41	46	87	14	73
3位 古賀 明	49	39	88	12	76
4位 宮崎 幸一	49	45	94	17	77
5位 寺島 美史	53	55	108	30	78
B.B 河合 隆一	53	48	101	12	89

平成12年6月25日

空港カントリー

12名

	O	I	G	H	N
優勝 中島 義和	38	40	78	5.6	72.4
2位 本田 亘	46	40	86	13.6	72.4
3位 松本 光示	38	40	78	3.2	74.8
4位 工藤 隆弘	42	47	89	11.2	77.8
5位 甲斐 利博	39	43	82	4.0	78.0
B.B 坂梨 常太郎	48	55	103	12.0	91.0

平成12年6月25日

15名

	O	I	G	H	N
優勝 河野 敬明	43	42	85	15	70
2位 安田 光則	39	47	86	15	71
3位 奈良 健一	43	42	85	12	73
4位 古賀 明	44	43	87	12	75
5位 井口 泰浩	47	42	89	14	75
B.B 森 一	55	52	107	14	93

平成12年7月23日

赤水ゴルフクラブ

22名

	O	I	G	H	N
優勝 三笥 司	40	40	80	9.6	70.4
2位 松本 光示	37	39	76	3.2	72.8
3位 坂梨 常太郎	43	43	86	12.0	74.0
4位 中島 義和	38	41	79	4.8	74.2
5位 神山 久志	40	45	85	10.4	74.6
B.B 渡辺 洋	56	50	106	12.8	93.2

※空港デンタル会は、行っておりません。

会 務 報 告

理 事 会

月 日	協 議 題
6月23日	141回理事会(会務、庶務、委員会報告・協議)
7月27日	142回理事会(会務、庶務、委員会報告・協議)
8月22日	143回理事会(会務、庶務、委員会報告・協議)

医 療 管 理 委 員 会

月 日	協 議 題
6月22日	産業廃棄物実績報告書、指導、受付 スタッフ研修セミナー、労務研修会 救急蘇生マニュアルについて
7月19日	労務研修会 救急蘇生マニュアルについて
8月24日	国立熊本病院開放型病院連絡会について 国立熊本病院開放型病院連絡会出席
9月 1日	三歯会について、労務研修会について 三歯会について、救急蘇生講習会について

学 校 歯 科 委 員 会

月 日	協 議 題
6月21日	学校保健会の報告 市役所ロビーでの歯科検診の報告、学術研修会の報告 九州地区学校保健研究協議大会についての協議
7月25日	理事会の報告、出務報告、学校保健協議会出席について 第22回学校歯科保健研修会の報告
8月17日	70周年記念式典について 70周年記念式典について、理事会の報告 AIDS対策協議会について 九州地区学校保健協議大会原稿のまとめ 国立病院の病診連携の説明会、三歯会 ライオン、衛生士会との打ち合わせ

学 術 委 員 会

月 日	協 議 題
6月20日	第1回学術研修会について 8月26日熊本市歯科医師会創設70周年記念式典について 第1回学術講演会について
7月26日	8月5日(土)第1回学術講演会について 8月26日熊本市歯科医師会創設70周年記念式典について
8月24日	市歯70周年記念講演について 学術研修会講演会について

厚生委員会

月 日	協 議 題
6月 7日	ビアパーティー打ち合わせ
7月11日	70周年記念式典打ち合わせ、入院入所者の集計
8月11日	入院入所者の集計

社保委員会

月 日	協 議 題
6月20日	介護給付費の請求方法の訂正について
7月17日	平成12年度個別指導について
	保険請求時の留意点について
8月 4日	介護給付費明細書と介護給付費請求書の記載例の作成

公衆衛生委員会

月 日	協 議 題
6月14日	無料歯科健診について、幼稚園フッ素塗布出務について
7月26日	生活習慣病予防セミナー出務について
8月23日	健保連、健康教室講座について、シティFM出演者について 健康フェスティバルについて

広報委員会

月 日	協 議 題
5月26日	70周年(年表作成) 中岳第109号編集 かわら版6月号編集
6月 9日	70周年(年表まとめ)、中岳第109号校正(第1回)
6月19日	中岳第109号校正(第2回)
6月26日	かわら版7月号編集、中岳第109号校正(第3回)
7月13日	中岳第109号校正(第4回)
8月 2日	かわら版8月号編集
8月28日	かわら版9月号編集、70周年記念写真の整理、中岳第110号編集

70周年記念準備委員会

月 日	協 議 題
5月30日	市歯科医師会のあゆみ(年表)作成
6月 1日	70周年記念表彰者リストアップ
6月 6日	ニュースカイホテルと打ち合わせ
6月21日	市歯科医師会のあゆみ(年表)作成
6月28日	式次第打ち合わせ、案内状手配、記念品等について
6月29日	70周年記念表彰者リストアップ
7月 6日	案内状発送、式典会場変更、席次、記念品、来賓等
7月 7日	70周年記念式典プログラム作成
7月12日	表彰会員、一般会員への案内状発送
7月31日	出欠の集計、小冊子「あゆみ」校正、祝辞等
8月10日	70周年記念抄録校正
8月16日	70周年記念抄録第2回校正
8月18日	最終打ち合わせ、席次表作成
8月21日	ニュースカイホテルにて打ち合わせ、会場チェック

～協 同 組 合 だ よ り～

協同組合では下記のようにレセプト・カルテの他医院事務用品並びに各種商品を取り扱っていますので是非ご利用ください。

レセプト・カルテ・医院事務用品印刷販売のご案内

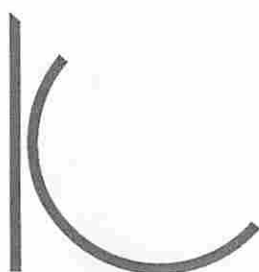
商 品 名		販売価格
(レセプト)		
コンピュータ用	100枚	450
手書き用(一般・50/100・老人)	100枚	300
単票	100枚	300
(カルテ)		
社保(本人)1・2号様式		250
社保(家族) 〃		250
国保 〃		250
(経理・検査諸書類)		
領収書	50枚	200
収支日計表	100枚	500
患者日計表	100枚	500
歯科経理帳	30枚	840
歯科予診録	100枚	330
歯周精密検査表	50組	650
歯科衛生士業務記録	50枚	170
紹介状	100枚	550
補綴物維持管理情報提供用紙	1,000枚	1,500

その他の商品

パイプ/500円、アガリクス茸/16,000円、アクアドクターUF/19,800円、機能水生成装置/444,000円・リース可
 クリアパール/25,250円・36,750円・54,000円、リラックス/10,500円、エネルギーTシャツ/3,900円
 浄水生成装置/550,000円・リース可、ダイエットスリッパ/3,400円、プロボリス/24,000円/蛍光灯/11,000円
 カニバック/α 6,000円・88 α 9,000円・90 α 10,000円/高性能空気清浄機/月額リース18,500円
 フットマッサージャー/55,000円、オー・ナチュラル1,200円・15,000円、/バイオ式ゴミ処理機49,800円

上記商品のご用命及びお問い合わせは協同組合事務局(TEL343-6400)まで

技術と信頼がテーマです



DENTAL LABORATORY AISHI

株式
会社 愛 歯

〒860 熊本市大塚4丁目2番42号
Phone. 096-343-5839 Fax. 096-343-5105

編集後記

ミレニアムのオリンピックも終わり、だんだんと秋が深まる中、少し寂しさを感じているのは私だけでしょうか？

先日、子どもの幼稚園最後の運動会があり、オリンピックの興奮をもう一度、とばかり張り切って出かけていくと大問題発生。柔道の篠原のときと同じように審判のジャッジミス。かけっこで娘が1、2位を争いゴール、結果は2位。そんなばかな、どうみても同着か、少し娘の足が早くゴールに着いているではないか。私は山下監督が乗り移ったかのように猛然と抗議をした（心の中で）。しかし、抗議は届かず惜しくも銀メダルに終わった。娘よ許しておくれ、お父さんは何もしてあげられなかったけど、証拠のビデオは撮ってある。間違いなくお前が金だ、いや1位だ～～！（親ばかもいいところすな）

てなわけで、興奮のうちにオリンピックも運動会も終わりました、今はパソコンでDV編集に追われている今日この頃です。

（T・S）

熊本市歯科医師会会誌

第 110 号

発行日 平成12年10月25日発行

発行所 社団法人熊本市歯科医師会

熊本市坪井2丁目3番6号

TEL (343) 6669

FAX (344) 9778

発行
責任者 関 剛 一

印刷所 株式会社 ハタノ

熊本市上熊本2丁目1-30

TEL096-356-6433 FAX096-311-1388